

かすかべ 議会だより

KASUKABE

2025(令和7)年5月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第79号



春日部女子高等学校との意見交換会（議会報告会）の様子
(令和6年12月20日開催)



次の定例会は
5月27日(火)開会予定です

主 な 内 容

主な議案の紹介…………… 2 ページ
審議結果…………… 3～4 ページ
代表質問…………… 5 ページ
一般質問…………… 6～15 ページ
意見交換会(議会報告会)……… 16 ページ

令和7年度一般会計予算は

933億3000万円

令和7年度 一般会計予算を可決

令和7年度の一般会計予算額は、前年度と比較して34・3億円、3・8%増となる、933・3億円となりました。

国際紛争などによる原油価格・物価高騰の影響が長期化し、先行きを見通すことが依然として困難な状況ですが、鉄道高架事業などの大規模プロジェクトも順調に進行し、まちが劇的に変わる重要な局面でもあります。そのため、経済的な影響を注視しつつ、安定的かつ健全な財政運営を維持しながら、総合振興計画における5つの重点プロジェクト「健幸プロジェクト」を中心に取り組み、本市の目指すまちの将来像の実現に向けた予算編成となっています。

【賛成多数で原案可決】

詳細はこちら



修正案

歳入歳出へ1億7532万円を増額し、総額935億532万円とするものです。内容について、主なものとして、歳出では、国民健康保険費を1億1949万円増額し、18歳以下の国民健康保険税均等割を全額免除するため、国民健康保険特別会計に繰り出すものです。

歳入では、繰越金を9億2372万8000円増額し、教育費雑入を7億1399万8000円減額するものです。これは、庄和地域の給食センターの給食費負担金、春日部地域小・中学校の給食費負担金を減額し、給食費を完全無償とするものです。

市民負担を軽減し、障がい者、高齢者、子育て支援などを充実させ、市民サービスの向上を目指す修正です。

【賛成少数で否決】

討論

若い世代が「住みたい」、高齢者が「住み続けられる」春日部となることを願って修正案に賛成（日本共産党）

障害者通所施設の統合は、これまでの利用者が通えなくなる懸念され、利用者と家族からも不安や疑問、要望が出されています。市の都合で利用者が犠牲にならないよう見直しを含めて、利用者に寄り添った対応を求めます。高齢者福祉施設への送迎バスが廃止になるということです。多くの利用者は、自転車や徒歩で行ける近所の方であると思いますが、今後は、春バスを利用してくださると案内するのであれば、春バスの回数券を渡すなどの代替措置を取ることを求めます。

日本共産党市議団が提案した予算修正案では、調査費を計上することで、障害者入所

施設の設置、保育所待機児童解消、デマンド交通の導入設置に向けて動き出すことができると思います。

以上のことから、原案に反対し、修正案に賛成します。

最少の経費で最大の効果を上げる事業の執行を要望し、原案に賛成、修正案に反対（自民・無所属の会）

令和7年度一般会計予算については、令和6年度に引き続き、過去最大の予算規模となっており、数多くのまちづくりなどの大規模事業が、引き続き実施・計画されています。また、財政面においても人口減少の時代、未来のこともたちが夢と希望、そして故郷として誇れるまちになれるよう、未来を見据えたまちづくり事業を確実に進める必要があります。

財政的には非常に厳しいですが、これらの事業がなす効果は、計り知れないものと認識をしています。

5点の指摘したことを念頭に、令和7年度の予算を、市民の皆さまからお預かりしている税金を、一円たりとも無駄にしないという強い意気込みで、最少の経費で最大の効果を上げられる事業を執行す

ることを強く要望して、修正案に反対し、原案に賛成します。

将来に向けて持続可能な財政運営を強く要望し、原案に賛成、修正案に反対（次世代 かすかべ！）

原案について、特に、ことも・子育て施策の強化や社会保障関連経費の増加については、今後一層進むであろう少子高齢化の要請に応えなければならぬものであり、それらの分野に対して、しっかりと予算をつけられていることは評価します。

財政面は、令和7年度予算は安定した状態となっていますが、今後もまちづくりの大規模事業は続き、社会保障関連経費の増加や老朽化した公共施設への対応など、ますます多くの財源が必要となってくるのが想定されます。今後とも、大規模事業による財政負担の平準化を図り、財政の健全性を維持し、将来に向けて持続可能な財政運営を強く要望し、原案に賛成します。

修正案は、歳入については、繰越金を財源とした一般財源の確保は適切ではなく、事業の継続性が確保できないものと考え反対します。

第 1 回（1 月）臨時会 審議結果

令和 7 年第 1 回（1 月）臨時会が 1 月 31 日（金）に開催されました。

市長提出議案

（○：賛成 ×：反対）

議案番号	議 案 名 () は付託委員会名	審議結果	自 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議案第 1 号	専決処分承認を求める（令和 6 年度一般会計補正予算（第 8 号）） (総務・厚生福祉)	承認	○	○	○	○	○	○	○
議案第 2 号	令和 6 年度一般会計補正予算（第 9 号） (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

3 月定例会 審議結果

市長提出議案

（○：賛成 ×：反対）

議案番号	議 案 名 () は付託委員会名	審議結果	自 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議案第 3 号	地域づくり推進協議会条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 4 号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める 条例の制定 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 5 号	学校給食運営審議会条例の制定 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 6 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理 に関する条例の制定 (総務・建設・教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 7 号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用 等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する 条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 8 号	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 9 号	会計年度任用職員の任用及び給与その他の勤務条件に関する 条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 10 号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び職員の育 児休業等に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 11 号	職員の給与に関する条例等の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 12 号	水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 13 号	病院事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 14 号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	×	○	×	○
議案第 15 号	特別職の給与に関する条例及び教育委員会教育長の給与等 に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	×	○	×	○
議案第 16 号	水道事業管理者の給与等に関する条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	×	○	×	○
議案第 17 号	病院事業管理者の給与等に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	×	○
議案第 18 号	職員の旅費に関する条例等の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 19 号	手数料条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 20 号	総合福祉センター条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 21 号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条 例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 22 号	保健センター等条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 23 号	健康福祉センター条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 24 号	廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 25 号	中心市街地まちづくり審議会条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 26 号	移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する 基準を定める条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 27 号	非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 28 号	市道路線の認定 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 29 号	市道路線の廃止 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 30 号	令和 6 年度一般会計補正予算（第 10 号） (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 31 号	令和 6 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 5 号） (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 32 号	令和 6 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号） (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 33 号	令和 6 年度介護保険特別会計補正予算（第 3 号） (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 () は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議案第 34 号	令和 6 年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理 (建 設) 事業特別会計補正予算 (第 2 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 35 号	令和 6 年度市立看護専門学校特別会計補正予算 (第 3 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 36 号	令和 6 年度病院事業会計補正予算 (第 3 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 37 号	令和 6 年度下水道事業会計補正予算 (第 2 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 38 号	令和 7 年度一般会計予算 (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	×	○	○
議案第 39 号	令和 7 年度国民健康保険特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○ ² _{×1}
議案第 40 号	令和 7 年度後期高齢者医療特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 41 号	令和 7 年度介護保険特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 42 号	令和 7 年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理 (建 設) 事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 43 号	令和 7 年度市立看護専門学校特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 44 号	令和 7 年度水道事業会計予算 (建 設)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 45 号	令和 7 年度病院事業会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 46 号	令和 7 年度下水道事業会計予算 (建 設)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 47 号	大沼公園広域受援拠点施設整備工事請負契約の締結 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 48 号	令和 6 年度一般会計補正予算 (第 1 1 号) (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 49 号	中学校等避難所空調設備設置工事請負契約の議決内容の一部変更 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 50 号	小学校避難所空調設備設置工事請負契約の議決内容の一部変更 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

諮 問

(○:賛成 ×:反対)

諮問番号	諮 問 名 () は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める 【木場 真理 氏】 (付託省略)	推薦に賛成	○	○	○	○	○	○	○

請 願

(○:賛成 ×:反対)

請願番号	請 願 名 () は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
請願第 1 号	学校給食調理室のトイレの改修を求める請願 (教育環境)	不 採 択	×	×	×	○	×	×	○
請願第 2 号	老朽化の進む給食施設の新增築・改築・改修を求める請願 (教育環境)	不 採 択	×	×	×	○	×	×	○
請願第 3 号	国に「消費税の適格請求書等保存方式 (インボイス制度) 及び電子帳簿保存制度の廃止を求める意見書」の提出を求める請願 (総 務)	採 択	○	○	×	○	○	×	○

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 () は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議第 1 号議案	市議会の個人情報保護に関する条例の一部改正 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 2 号議案	消費税の適格請求書等保存方式 (インボイス制度) 及び電子帳簿保存制度の廃止を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	×	○	○	×	○
議第 3 号議案	性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 4 号議案	高額療養費窓口負担引き上げの中止・撤回を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 5 号議案	八潮市道路陥没事故の教訓から、水道・下水道事業に国の抜本的支援の強化を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 6 号議案	食料と農業の危機打開を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 7 号議案	大規模災害被災者の生活と生業の再建への支援の拡充を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

代 表 質 問

市長の令和7年度施政方針に対し、各会派の代表者から質問がありました。



←代表質問の録画映像については、こちらをご覧ください。



←令和7年度施政方針の詳細については、こちらをご覧ください。

(文責は、各質問者)

自民・無所属の会

①全校へのスクール・サポート・スタッフの配置については、わが会派ではこの事業の必要性を令和6年度の市長の施政方針でも質問をしたが、いつ全校配置になる予定なのか。

②職員向けAIチャットボットの導入は、どのくらいの効率化が見込めるのか。

○市長

①令和6年度は、県の補助金の範囲内で22校に配置していました。令和7年度は、県の補助金も活用しつつ、全34校に配置を予定しています。

②職員間の内線電話や対人による問い合わせを半数程度削減し、人件費に換算すると、約300万円を見込んでいます。

公明党

今回の施政方針作成に当たり、力を入れた分野を伺います。また、予算編成の視点として「健幸プロジェクトに掲げた事業を中心とした予算編成」とありますが、一般会計約933億円、過去最高の予算についての見解を伺います。

○市長

人口減少・少子高齢化、自然災害に対する備え、DXの推進、脱炭素への取り組み、インバウンド需要の高まり、外国人への対応の5点が特に重要であると考えています。予算規模は過去最大となりましたが、財政調整基金の取崩し額や市債は減少となり、持続可能な財政運営を実現するための予算編成としたものです。

次世代 かすかべ！

①令和6年度に行った、かすかべ未来研究所の調査研究と今後の対応を伺います。

②訪れた外国人の方々が市内を周遊するだけでなく、クレヨンしんちゃんのスポットも必要と思うが、考えを伺います。

○市長

①地域住民と外国人との共生における課題の研究を行い、今後は地域住民と外国人双方が安心して過ごせる春日部の実現に向けて取り組んでいきます。

②施設については、本市のPRなどにおいて、大変効果があるものと認識しています。引き続き関係者との協議を進め、市内を周遊し、少しでも長く滞在していただけるような取り組みを進めていきます。

日本共産党

①「本市を取り巻く環境」として、物価高騰で市民の暮らしが困難になっていることに触れていないのは残念です。暮らしの困難について、見解をお願いします。

②市民の高齢化に伴って、通院や買い物など移動手段の確保が切実な要望になっています。デマンド交通の導入について市長の見解を伺います。

○市長

①物価高騰の影響を受けている事業者と市民の皆さまに向けたさまざまな支援策を速やかに実行していきたいと考えています。

②地域公共交通活性化協議会および庁内協議を通じて、地域の変化や実情に応じた施策の検討を行っていきます。

立憲民主党

魅力とにぎわいのある中心市街地の創出の中から、中心市街地の課題を解決するため、エリアプラットフォームを設置し、また、ステークホルダーの意見を伺いながら進めていくことですが、市長の考えるまちのにぎわいの場とは、どのようなイメージがあるのか伺います。

○市長

連続立体交差事業の完成に合わせて整備された、魅力ある中心市街地を目的地として、市内外から来街者を迎え、人が集い、まちがにぎわい、その結果、エリア全体の価値を向上させることで、住んで良かった、住み続けたいまち「春日部」を実現していきたいと考えています。

日本維新の会

①財政調整基金などの基金残高は、令和3年度決算からの推移で約25%減になっています。大規模事業が続く中、今後の財政運営について伺います。

②ハルカイトなどの庄和エリアの観光施設について今後の展望を伺います。

○市長

①国庫補助金や交付税措置がある有利な起債を活用し、歳出の一般財源を最小限に抑えることが大切だと考えています。

②ハルカイトと本市の観光スポットを組み合わせたツアーを考えていきたいと思っています。そうすることで、多くの方がより長い時間市内に滞在し、飲食店をご利用いただくことなどに期待しています。

一般質問

市民の声を市政に

※ 各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧ください。

※ 小久保博史議長は職責上（議事整理権）、監査委員の水沼日出夫議員は申し合わせにより一般質問は行っていない。

（文責は、各質問者）

一般質問に27人が登壇

上下水道設備の 老朽化の現状や 今後の方針について



木村 圭一
議員



今年、1月28日に八潮市で発生した道路陥没事故を受け、上下水道の老朽化が問題視されています。今後、老朽化対策に取り組む技術者の人材確保がますます難しくなっていく中では、AI画像診断などの最新技術を活用して効率的に修繕箇所を特定する取り組みも必要ではないかと考えますが、本市も、そうした取り組みはできないのでしょうか。

また、本市で行っている路面下空洞調査は、春日部市インフラマネジメント道路計画に基づくと、5年に1度の点検と記載されていますが、もっと短い頻度にする必要はないのでしょうか。市の見解を伺います。

○上下水道部長

AIを活用した画像診断などは、本市としても注目しており、他事業体での導入事例による有効性の確認や費用対効果などについて情報収集に

努めています。引き続き最新技術の活用について調査研究していきたいと考えています。

○建設部長

国において、下水道の点検対象とする管路や点検頻度の見直しなどの議論が行われています。これらを踏まえ、インフラ施設の点検頻度の見直しなどを含め国の動向を注視していきたいと考えています。

このほか

○マイナンバーカードを活用した行政サービスの拡充について

○公園の環境整備（管理・充実・補修）について

ウィング・ハット春日部 および周辺整備について



山崎 進
議員



春日部市体育施設整備基本計画が平成5年3月に策定され、18ヘクタールという壮大な面積の中に、体育館、プール、陸上競技場、テニスコートなどのスポーツ施設が計画され、その一つの体育館「ウイング・ハット春日部」が平成14年に完成しました。その

後、広大な面積は暫定的に運動広場として活用していますが、平成31年3月に、旧谷原中学校跡地を含めた総合体育施設整備基本計画を策定して以降、進展が見られません。

そこで、①公共施設マネジメント基本計画における、スポーツ施設の位置付けについて、②旧谷原中学校跡地を遊水池にし、遊水公園としてスポーツ施設と一体的に整備することについて、それぞれ伺います。

○公共施設事業調整担当部長

①スポーツ施設の主な方向性として、1点目は市民体育館および市民武道館の建て替え時に統合や集約化を検討すること。2点目は施設の管理運営について公民連携の手法を活用すること。3点目は主要な種目で全国大会を開催できる水準での整備を目指しながら、種目の範囲や規模、施設の機能などを検討することなどを位置付けています。

○社会教育部長

②調節池ではありませんが、県の条例に基づき、計画エリア内に調整池を設ける必要があります。

このほか

○農業について

春日部市の インフラについて



伊藤 一洋
議員

簡単には直せない道路や水道、下水道などのインフラ施設を、どのように維持していくのか。

生活の利便性を維持しつつ安全・安心を確保していくために、事故が起こった後に対処する「事後保全」ではなく、「予防保全」を前提としたメンテナンス方法への切り替えが重要だと考えます。

そこで、この先、市民が安全・安心に暮らしていくために、現在どのようにインフラ（道路、河川、公園、上下水道）の点検をしているのか、それぞれ伺います。

○建設部長

道路施設は、橋梁、路面の状態、路面下の空洞の点検を5年に一度実施しています。

河川施設は、市の取り組みとして、排水機場などの安定的な稼働を行うために、毎年定期点検を実施しています。



インフラ整備（イメージ）

公園や広場の遊戯施設は、都市計画法に基づき、市で管理する全ての遊戯施設について、毎年点検を専門技術者へ委託し、実施しています。

○上下水道部長

上水道施設は、業務委託による漏水調査を毎年実施しています。

下水道施設は、春日部市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、マンホールや下水道管内部のTVカメラ調査などを実施しています。

このほか

○公用車のカーシェアリング導入について

八潮市道路陥没 事故に伴う下水道の 汚水の放流について



鬼丸 裕史
議員

令和7年1月28日に、八潮市で道路陥没事故が発生しました。この事故に関連して、埼玉県から本市も含めた下水道の使用制限の要請があり、下水道を利用される市民の生活に、大変大きな影響を及ぼしました。1月28日から続いた下水道の使用制限は、2月12日に解除され、埼玉県が管理する春日部中継ポンプ場から、近くを流れる水路への汚水の緊急放流についても、3月3日に終了しました。

水路沿線の住民だけでなく、下流の新方川沿線まで、汚水の臭いといった影響を及ぼしている状況でした。

そこで、以下伺います。

①臭い対策について②近隣住民や市民に対しての周知について③今後の見通しについて

○建設部長

①県によると、新方川に合流する大貫堀と中之堀川において、希釈水を放流したこと

臭気の抑制に一定の効果があったとのこと。②旧新方堀および新方川沿線の1415世帯に、回覧によりお知らせしました。また、市ホームページなどでも周知しました。

このほか

○磁気テープの2025年問題について

避難所開設・ 運営について



荒木 洋美
議員

①近年、自然災害は頻発化・激甚化しており、毎年のように全国各地で大規模災害が発生しています。また、自然災害だけでなく、八潮市で起きた道路陥没事故や大船渡市で起きた山火事でも住民が避難生活を余儀なくされています。本市でも、平時から、いざと

いう時のために自主防災組織を中心に避難所開設訓練を行っていると思います。そこで、現在行っている避難所開設訓練の実施状況を伺います。

②東日本大震災の時と比べ、避難所での生活環境の向上を図ることは2次被害を防ぐ上で大切な取り組みです。災害時の避難所では、女性の生活スペースの配置を工夫するなどして女性や子どもへの性暴力・DVを含めた暴力の防止や、女性用品を確保することなど、女性の視点を踏まえた配慮が必要です。そこで、女性の視点を取り入れた避難所運営の取り組みを伺います。

○市長公室長

①学校や市民センターなど、避難所となっている施設を利用し、施設の鍵の解錠、避難者を受け入れるための避難所開設準備、避難所内のレイアウトの設定や導線の確保、避難誘導などを実施しています。

このほか

○職員の雇用について
○高次脳機能障害支援について

**お兄さんマッサージ
いかがですか？執拗
な客引きは条例違反**



酒谷 和秀
議員



私が本日取り上げる問題を解決しなければ、心から春日部に住んでよかった、春日部に住んでみたい街にはなり得ないと、私は考えています。

そこで、以下伺います。

①毎晩毎晩、春日部駅西口交差点付近では、外国人女性による執拗なマッサージの客引きが行われています。

これは法令上、何らかの問題がありませんか。

②迷惑なマッサージの客引きをなくすために、当該交差点付近に、客引き監視員を配置することができないでしょうか。

○市民生活部長

①この状況について、春日部警察署へ確認したところ、人の身体、衣服もしくは所持品をとらえ、立ちふさがり、つきまとうなど執拗な方法で客引きをするなど、勧誘行為をすることは、埼玉県迷惑防止条例第7条、不当な客引き行

為等の禁止に抵触するのとこととした。

従いまして、付きまとうなど、執拗な客引きは市民や事業者にとっても迷惑行為であると考えています。

②警備員の配置を行っている足立区へ伺ったところ、悪質な客引き行為を抑制するため、警備会社へ業務委託し、繁華街周辺に警備員を配置しているということでした。

今後、他市の対応についても情報収集を行うとともに、職員にてパトロールなどを実施していきたいと考えています。

**市内こどもたちの
食育について**



大里 昇
議員



農林水産省の食育推進施策の具体的な取り組みに、家庭における食育の推進、そしてこどもの基本的な生活習慣の状況から、近年、よく体を動かす、よく食べ、よく寝る、ということが成長期のこどもにとつては必要不可欠といわれています。また、早寝早起

き朝ごはん国民運動の中にも、こどもの生活習慣づくりの推進があります。

現在、全国のいくつかの自治体では、学校の家庭科室を活用して、朝食を提供している小・中学校があり、非常にいい取り組みだと思います。

本市でも学校で朝食を提供すること、また、提供するスタッフとして、こども食堂の実施団体にご協力いただくの

○こども未来部長

こども食堂の実施団体は、春日部市地域子育て支援協議会に加入をしている5団体があります。

こども食堂は、地域の方々が主体となり運営していることから、活動場所はいずれも特定の地域であり、主な活動時間帯は午後となります。

自主的、自発的な取り組みとして活動している、こども食堂の実施団体が、学校における朝食提供のスタッフとして協力することは、新たな活動が加わることによる負担の増加や、活動時間帯が朝になるといった点が課題になるものと考えられます。

**有償ボランティアで
支え合う仕組み
づくりについて**



藤原 智子
議員



少子高齢化や地域コミュニティの変化を背景に、持続可能な支え合いの仕組みとして有償ボランティアは注目されています。各市町村では、高齢者の日常の困りごとを地域のボランティアがお手伝いをして、その謝礼をボランティアアポイントとして付与し、地域通貨として使える有償ボランティアの取り組みが行われています。

本市の「介護支援ボランティアアポイント事業」に加えて、大きな視点でのボランティアポイント制度を導入し、本市においても春日部市商業協同組合が発行する、デジタル地域通貨にボランティアポイントの活用は図れないかお伺いします。

○健康保険部長

ボランティアポイント制度の導入については、すでに多くの方が無償、有償、さまざまな形で多岐にわたって活動

していることから、不公平感が生じることのないよう、対象者や対象とする活動の範囲を設定するなど、慎重に制度設計しなければならぬものと考えています。

デジタル地域通貨の介護支援ボランティアポイント事業への活用については、春日部市商業協同組合の電子化事業の今後の進捗状況を踏まえ、実施の可能性について研究していきたいと考えています。

このほか

○武里地域について

奨学金返還支援制度について



支え合いの仕組み（イメージ）

春日部市の国際交流は 今のままで充分なのか？



石川 友和
議員



令和6年の本市への転入者は1079人。うち外国人が790人と答弁があり、本市の取り組んでいる国際交流についていくつか質問をします。

①国際交流協会の活動が今のままでは尻すぼみになってしまっているのか。

②アメリカのパサディナ市訪問日程について、市長は5日間と答弁をしていたが、何を

する予定であったのか。

③まずは市長がパサディナ市に訪問しないと事業が進まないという認識でいいのか。私は市長の都合がつかなければ、優秀な若手職員に訪問を託すという方法もあるかと思いますが、市長の考えを伺います。

○市長

①国際交流協会へは、補助金の交付のほか、市民参加推進課が事務局を担うことで人的支援も行っていますが、今後については、国際交流協

赤沼・銚子口地区 産業団地について



金子 進
議員



会と協議していきたいと考えています。②5日間は飛行機の時間なども含めた最大の日数で、活動できるのは3日間程度となる中、パサディナ市長との面会、市内の視察、また地元の方々とのカンバセーションなどを考えていました。

③まずは私とパサディナ市長との直接の意見交換を通じて、今後どの分野で連携を図っていくかを明確にし、若い職員など、担当者間の交流につなげていきたいと考えているところです。

このほか

○新庁舎運用1年が経過して



国際交流 (イメージ)

この産業団地は、豊野工業団地と隣接し、また国道4号バイパスにも接しており、現在、国土交通省において東埼玉道路の整備が進められ、将来的には、さらに交通利便性が向上する地区です。

本市では、春日部が大きく変わる5つの事業の1つとしており、この事業により、新たな雇用を生み出すとともに、財政基盤の強化につながることもから、非常に期待のかかる事業です。

一方で、現時点では、この事業が進んでいるように見えないという声も耳にします。

そこで、赤沼・銚子口地区産業団地の整備が完成し、企業が立地するまでの、埼玉県と本市の取り組みを伺います。

○都市整備部長

産業団地の整備については、埼玉県企業局を事業主体とし、本市が地元調整を担う、共同事業方式で実施する事業です。

埼玉県企業局では、産業団地の整備に関する調査・設計を行い、事業化した際には用地の取得、産業団地の整備のほか、立地企業の募集を行います。

本市では、用地取得のための用地交渉や、農業振興地域農用地区域からの除外に向けた農林調整、市街化区域編入に向けた都市計画の調整のほか、産業団地から県道春日部松伏線を結ぶアクセス道路の整備を行います。

このほか

○米不足について

○防犯の取り組みについて

春タクの距離制限をなくし 春日部地域にも拡充を



大野とし子
議員



令和6年1月より第四次春

バス運行が始まり、6路線が3路線となりました。庄和南線廃止に伴い、公共交通の少ない庄和地域において、春タク（タクシー代補助制度）が新たな制度として導入されました。対象者は75歳以上の方と妊産婦ですが、駅から80

0m、バス停から300m以内の方は対象外となるため、春タクを申請したけれど距離制限で不承認となった方は98人いました。

国土交通省の高齢者交通空白地域の基準は、駅から500m以上であること。また、土木学会の調査で、80歳以上の方が無理なく歩ける距離は100mとしていることを考えれば、距離制限はなくしていくべきと考えます。

また、路線廃止によって、春日部地域にも広大な交通空白地域ができました。高齢者の移動手段確保のために、春日部地域にも春タクを拡充すべきと考えますが、市の認識を伺います。

○都市整備部長

持続可能な公共交通の実現を目的としており、高齢者などの移動手段確保のため、距離制限を設けています。

また、タクシーは鉄道や路線バスを補完する公共交通と位置付けており、拡充については、既存の公共交通機関への影響が懸念されることから、慎重な検討が必要と考えます。

このほか

○市は、社会福祉協議会と連携し、福祉行政の推進を

式典の在り方について



榛野 博
議員

二十歳を祝う会は人生において一度きりのものです。長寿を祝う会は年齢要件を満たせば毎年対象となり、式に参加できます。しかも、長寿記念事業があり、一定の年齢を超えた高齢者は、毎年祝い金や祝いの品としてカタログギフトなどがもらえます。さらに、長寿を祝う会は人数が多いという理由で対象年齢の引き上げを行いました。

この2つの式典の参加率などの検証報告を受け、市長は今後、これらの式典の在り方について、どのように考えているか伺います。

○市長

二十歳を祝う会については、今後、新旧の委員が集まる情報交換会というものを設けさせていたきたいと思っております。可能であれば、私も出席して、さまざまな世代の方からの意見をいただながら、改善を図っていければと思います。

ているところです。

長寿を祝う会については、長年にわたり社会に貢献されてきた方々へ、感謝の気持ちを直接お届けする貴重な機会でもあります。

会場まで来ることが難しい方については、大変悩んでいますが、まず今年は、各地区にある高齢者福祉施設での同時配信、後日配信などを見ていただき、一人でも多くの方にお祝いの気持ちを届けたいと考えています。

このほか

○市と協力事業者の関係について

給食費無償化の早期実現を



古沢 耕作
議員

いま、さまざまな物の値段がかつてないほどの短期間に高騰しており、われわれの家計を圧迫しています。

特に主食の米、野菜、果物、肉といった生鮮食品は、この1年で実に1・5倍から、物によっては2倍、3倍の値段となっています。

こうした状況下で、子育て

世帯の方々への支援として、市長が公約に掲げた学校給食無償化の早期実現を望む立場から、以下伺います。

①現在の本市の給食支援事業について伺います。②例えば、多子世帯への支援（3人目のお子さんから無償）は、前市長時代に始まった事業です。市長は学校給食の無償化を選挙公約に掲げました。そこに期待した子育て世代の有権者は少なくなかったと思います。市長が給食無償化を掲げた真意と、現在も進んでいないことについての見解を伺います。

○学務指導担当部長

①低所得世帯への就学支援や多子世帯への助成、また、物価高騰分を市が負担するなどの支援を行っています。

○市長

②子育て世代に寄り添い、応援したいという気持ちで、無償化を段階的に目指すことを公約に掲げました。今後も、各施策の優先順位や予算の収支バランスを考え、実施します。また、国による無償化も引き続き要望していきます。

このほか

○「こども誰でも通園制度」について

選択的夫婦別姓導入について



平沢 一博
議員

現在、国会において選択的夫婦別姓導入についての議論が交わされています。このテーマは、婚姻制度や家族の在り方にも深く関係している大変重要な議論の一つです。

そこで、以下伺います。

①夫婦別姓の導入は、強制的親子別姓をこどもたちに強いる可能性があり、親子関係の在り方やこどもへの心理的、社会的影響について懸念する声もあります。こどもへの影響について本市の見解を伺います。②夫婦別姓導入に当たっては、新しく結婚する夫婦にだけでなく、経過措置を設け、全ての既婚者が婚姻前の姓に戻ることが可能とのことです。その影響について、本市の見解を伺います。

○総務部長

①多様性の広がる社会の中で、家族の在り方、親子の在り方、さらにはこどもへの心理的、社会的影響について、さまざま

な意見がありますので、これらは、国において多角的な視点に立って議論がされるべきと考えています。

②法制審議会の答申では、婚姻中の者に限り配偶者との合意に基づき、改正法の施行日から1年以内に届け出るにより婚姻前の姓に改姓することが可能となっています。

なお、経過措置の在り方については、国民の理解と十分な周知が必要であり、今後、国において種々検討されるものと考えています。

このほか

○本市における人口について



選択的夫婦別姓（イメージ）

一般廃棄物 処理施設の更新は？



山口 剛一
議員



一般廃棄物処理施設は、市民生活に不可欠な施設です。

昨年、川口市の処理施設で火災が起き、市民生活への影響の大きさを知りました。

令和5年度に、豊野の環境センターの一般廃棄物処理施設は、更新のための手続きや地元説明などに時間が必要となるため、更新を考える時期に来ているとの説明がありました。

5年前の信頼できる団体の資料では、建設費が1トン当たり9200万円、本市の場合、約367億円が必要になると試算されます。

そこで、検討されている手法と、いつ頃、施設の方向性を定めたいのか伺います。

○環境担当部長

ごみ焼却施設の整備や更新の手法は、3つの方法が考えられます。

1 点目は、再長寿命化、2 点目は、施設の全面的な更新、

3 点目は、ごみ処理の広域化です。

現在稼働中のごみ焼却施設は、おおむね20年の長寿命化を目標に基幹的設備改良工事を実施しました。

その基幹的設備改良工事が完了したのが平成30年度末であることから、今から約10年先の令和20年度までが稼働目標と捉えています。

このほか

○12年間放置された市民窓口防犯カメラの検討状況について

○春日部市観光協会はこのままでいいのか？



豊野環境衛生センター

運転免許証の 自主返納の 支援について



栗原 信司
議員



市では、令和6年12月から令和7年2月の3カ月間で、交通事故死者数が4人となったことから、県の市町村交通事故防止特別対策推進要綱に基づき、交通事故防止特別対策地域に指定されました。

これを受け、市では交通事故死亡事故の撲滅を目指し、市長を本部長とする交通事故防止特別対策本部を2月22日から設置するとともに、関係機関と連携して5月21日までの3カ月間、交通事故防止対策を図ることになりました。

本市独自に交通事故防止へ向けた具体的な取り組みについて伺うとともに、そもそも車やバイク、自転車など違って最高速度が時速20キロとハード的に設定される、特定小型原動機付自転車免許への切り替えは有効な手段と思われることから、運転免許証自主返納者支援として、特定小型原動機付自転車を購入する

際の補助を行うべきと考えますが市の見解を伺います。

○市民生活部長

免許返納者の95%を占める方が高齢者であり、安全面などの課題が多いものと考えています。

このほか

○気候変動枠組条約第29回締約国会議（COP29）と春日部市の取り組みについて
○市営住宅における近隣トラブル解決支援サービスについて

○子育て支援として、赤ちゃんの駅の拡充・こまもりマーチの推進について

学校給食調理室は 早急に改善を



並木 敏恵
議員



春日部の自校調理給食は市の自慢の一つですが、調理室の改善を求める請願が繰り返し提出されています。

学校給食調理室の現状は、どうなっているのでしょうか。

現場からは「調理中の最高気温37度。最高湿度74%、とにかく暑い」「唐揚げを作っ

ていて足が痙攣した」「みんな命の危険を感じながら働いている」などの声が上がっています。

早速エアコンを設置すべきと思いますが、いかがですか。

エアコン以外にも「壁の塗装が剥がれて異物混入が心配」「アレルギー食を作る環境ではない」との告発もあります。こどもの命を育む給食を作る調理員さんに、過度の犠牲と負担を強いる現状は改善すべきです。

早期の建て替えを求めます。

○学校教育部長

現在、校舎トイレ改修や体育館外壁等耐震対策、避難所空調設備整備など、児童生徒の安心・安全の確保や学習環境改善に関わる整備を優先して行っているところです。

まずは「児童生徒のため」と考えますと、現状では、調理室へのエアコン設置は課題が多いと考えています。

○市長

優先事業に取り組みながら、必要な修繕などを行っていきたいと考えています。

このほか

○こどもの足で行ける「地域児童館」の整備を

心身障害者 通所支援施設について



会田 吉幸
議員

今回の心身障害者通所支援施設の統合に際して、障がいをお持ちの方やそのご家族の方々からのご意見と市の考える施設の統合目的とは乖離があると思いますが、統合計画に当たって、利用者やその家族、職員の意見をどのように反映し、取り入れたのか。

また、そこで働いている障がいをお持ちの方および利用者が、これまで享受していたサービスが減少しないような配慮および対策と、障がいをお持ちの方やその家族の方々をはじめとする利用者や、市民の協力を得るための方策について伺います。

○福祉部長

個別施設計画の策定に当たり、利用者、保護者への説明会、また、令和7年1月6日から2月4日まで、個別施設計画に対する市民意見提出手続により、広く市民の皆さまのご意見をいただきました。

今後市民の皆さまや施設の利用者、保護者の皆さまにご理解、ご協力をいただくため、必要な情報の公開、説明を行い、利用者の皆さまに寄り添い、地域の皆さまのご理解をいただきながら対応調整を進めていきます。加えて通所支援施設と地域の方との交流などを積極的に行っていくと考えています。

このほか

○レジデンシャルパークSHOWA（庄和総合公園）の管理について

○大風文化交流センターの宣伝・広告について

リサイクルショップは 現在の場所で建て替えを



木下三枝子
議員

リサイクルショップの移転計画案について、障害者福祉の観点から、2年後の移転は当事者にとって急激な変化で、丁寧な対応が求められますが、利用者の意見を十分聞き出したのかという点について、どのように考えるか伺います。また、公共施設マネジメント

ト計画や指定管理者制度は、障害者施設の運営になじまないと考えことから、リサイクルショップの運営方法の見直しとともに、今の場所ですべて新しい施設に建て替えて継続してほしいと思います。もし移転するならば、送迎について利用者の意見を聞き、市の責任で行うことを求めますが、市長の考えを伺います。

○市長

少子高齢化や多様化する住民ニーズの変化に対応しつつ、将来にわたり適切に福祉施設を含む公共施設の管理を継続して行っていくには、春日部市公共施設マネジメント基本計画および指定管理者制度運用指針に基づき、適正に施策を進めるべきものと考えています。

心身障害者通所支援施設の適正配置に当たっては、社会情勢や障がいのある方およびそのご家族の状況の変化を的確に捉え、利用される方々の状況に寄り添って福祉サービスの質の向上に、これからも取り組んでいきたいと考えています。

このほか

○学校トイレの個室に生理用品の設置を

市民センターについて



鈴木 一利
議員

本市では、令和6年4月から、公民館と地区センターを併合した市民センターの運営を開始し、この間、各市民センターでは地域づくり推進会議を開催し、地域の方々との協働で市民センター運営についての協議が行われてきました。そこで、以下伺います。

①市民の意見を含めた、市民センター運営の反応。

②市民センターを、これまで以上に地域の拠点としていくために、機能の拡充と人材の連携強化・拡充。

③市民センターの今後の展開。

○市民生活部長

①次の意見をいただきました。地域づくり推進会議の開催は、地域づくりのきっかけに有効。防災・防犯の拠点として、市と学校を含む地域の災害時などの連絡対応の練習、確認をさらに図りたい。こどもの居場所づくりは、とてもいい取り組み。地域の活性化にも重

要。住民票などが発行できるのは便利。市役所に行かずに済む手続きが増えれば、特に年配者は助かる。

②地域づくり推進協議会で議論いただき、各機能の拡充など、市民センターの今後の在り方を考えていきます。

○市長

③地域づくり推進協議会で、それぞれの地域の方向性を定めていただき、市民センターが中心となつて、地域住民による自主的なまちづくりが進むように尽力していきます。

このほか

○春日部市のごみ収集について



豊野市民センター

市制施行20周年 記念事業について



奥沢 裕介
議員

当該事業の周知や機運醸成に関して、出初め式や二十歳を祝う会での事前告知のイベントでも大変好評で、良いスタートを切ることができたと伺っています。

前回の一般質問から3カ月ほど経過し、実施に向けて調整の可否が判明したかと思いますが、市制施行20周年記念事業について、決定している主な内容についてお伺いします。

○総合政策部長

記念式典では、アトラクションとして終戦80年を迎える節目の年に合わせて、平和を祈念するコンサートを実施するとともに、なるべく多くの方にご参加いただけるよう取り組んでいきます。

記念事業の一つとして、全国公開放送番組、NHKのど自慢が決定したところです。開催日は令和7年7月20日、日曜日で、その前日に予選会

が開催されます。こちらも、できる限り多くの方々にご参加をいただき、観覧される方々とともに盛り上げていきたいと考えています。

その他の記念事業についても、さまざまな分野において、お子さまから高齢の方まで幅広くご参加いただけるよう、また皆さまの思い出に残るような事業を展開していきたいと考えています。

このほか

○ゼロカーボンシティ推進の取り組みについて

○春日部市こども・若者計画(案)について



春日部市市制施行20周年記念ロゴマーク

官民連携の まちづくりについて



吉田 稔
議員

令和7年度からの新規事業である「官民連携まちづくり推進事業」ですが、これからの本市の事業の中でも絶対に大きな柱としなければならぬ事業だと感じています。以下について伺います。

①中心市街地にて民間との連携を行う必要性について

②期待される効果について

○都市整備部長

①連続立体交差事業の完成に合わせて、周辺街路や駅前広場、公園、再開発事業など、さまざまな都市基盤整備を行うことにより、多くの方々が自由に活動できる公共空間を整備する予定です。まちのにぎわいや魅力を向上させるためには、官民が連携し、整備された公共空間において、新たなまちの担い手による日常的な利活用を促進することで、にぎわいの創出と魅力ある中心市街地を実現することができると考えています。

②民間のノウハウを生かすまちづくりにより、新たな事業や雇用機会が創出されるとともに、スピード感を持って、より市民目線に立ったまちづくりが展開されることで、にぎわいの創出と地域の活性化につなげていきたいと考えています。また、多くの人々が継続的にまちづくりに取り組むことで、さらなるにぎわいが生み出され、魅力やエリアの価値の向上につながると考えています。

このほか

○待機児童ゼロに向けた対策について

国保税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の引き下げを



今尾 安徳
議員

現在の物価高騰、食料費や燃料費、米の高騰など、また失われた30年といわれるように賃金も年金も上がってこない、むしろ下がってしまった中で、市民の暮らしは大変な状況になっています。

そこで国保税・介護保険料・後期高齢者医療保険料な

どもこの間、引き上げが続いています。市として国に対してどのような要望を上げているのか。また、こうした状況下、社会保障費の引き下げこそ行っていくべきと思いますが、市長の考えを伺います。

○健康保険部長

全国知事会では、国保は財政支援などを、介護は低所得層に対する支援・拡充などを、後期高齢者医療は受診抑制につながらない制度の在り方の検討などを要望しています。

また、全国市長会では、国保は公費負担の継続・拡充、国庫負担引き上げなどを、介護は安定的運営のための財政措置の充実と低所得層への財源確保を、後期高齢者医療は受診抑制につながらないよう国の負担の充実などを、それぞれ提言しています。

○市長

各制度の中で適正に保険税などを設定していますが、国保の構造的な問題など制度独自の課題もあります。持続可能な保険制度と市民負担の軽減など、全国市長会と連携し引き続き要望していきます。

このほか

○全市民対象にインフルエンザ予防接種補助を

条例違反か。 政治活動ポスターの 取り扱いについて



永田 飛鳳
議員



今年10月は、春日部市市長選挙が控えています。

岩谷市長が立候補した前回の市長選挙では、2連ポスターの剥がし漏れ、証紙なしの確認団体ポスターの掲示などがあり、公職選挙法や、春日部市屋外広告物条例でも、違反ではないか、と私は考えます。

公職選挙法違反の疑いが多いと、その後、警察が動き、結果、市民の方に不安を与えたことは、投票率の低下、さらなる選挙離れにつながっていると思います。

今後の政治活動用のポスター1、2連ポスターの掲出について、岩谷市長自身と岩谷市長の政治団体、「かすかべ再輝動の会」および協力者、応援者が条例を順守する考えはあるのか伺います。

○市長

春日部市屋外広告物条例は、良好な景観の形成、風致の維

持、または公衆に対する危害の防止を目的に、屋外広告物に必要な規制を行うための基準などを定めたものです。

今後においても条例を順守していきたいと考えています。

このほか

○ムクドリの対策について



春日部駅西口 再開発事業について



河井 美久
議員



再開発が実現することで、本市のイメージは大きく変わると思いますが、建設コストの上昇を含め、さまざまなハードルがあり、簡単には実現できないと考えています。

これらの課題を解決するためには、権利者の方々による努力が必要であると思います

が、行政との連携が必要であるとも考えています。

再開発事業で受けることのできる、主な補助制度と現在の市の関わり方について、お伺いします。

○都市整備部長

本事業に関する補助制度については、国において、都市における土地の合理的かつ健全な高度利用と、都市機能の更新を促進することを目的とした、社会資本整備総合交付金制度があります。

補助の対象については、事業計画の作成などの調査設計画費、土地の整備などの土地整備費、共同施設整備費などで、補助率の上限は国と地方で、それぞれ3分の1です。本市の関わり方については、市が開催する権利者の会を中心に、権利者の皆さまとの情報共有などを図っています。

また、準備組合の理事会へも参加させていただき、現状の把握に努めています。

今後も引き続き、再開発事業が円滑に進捗するよう、関係権利者の方々と連携を図りながら進めていきたいと考えています。

このほか

○東埼玉道路について

ペット行政 (防災)について



中村 貴彰
議員



いつ起こるか分からないからこそ準備をする、想定をはるかに超えた災害に対するペットの飼い主への支援を、もっと考えるべきだと思います。本市では、約20人に一人が犬を飼っているとのことでした。

災害時にできるだけ飼い主が理解できるよう、ペット同行避難について、市のオリジナルガイドラインとして、新たな啓発冊子を作成・活用し、飼い主への啓発をお願いしています。また、ペットと同じ空間で過ごす同室避難ができないことで、避難をためらったという声が課題となっています。

同行避難訓練の開催およびテントなどを活用した同室避難所の開設を、強く要望します。災害時には、何よりも人命が優先されますが、ペットと同行避難することは、動物愛護の観点のみならず、飼い主である被災者の心のケアの観点からも重要と考えます。そ

こで、ペットの災害対策に対する市の市長の考えを伺います。

○市長

ペットの災害対策は、環境省のガイドラインのとおり、飼い主が自らの責任の下、適正に飼養できるよう支援することであると考えています。

なお、同行避難の際は、動物に対して多様な価値観を有する人がいるため、原則、避難者とペットとの区画を分けて対応することとしています。

このほか

○グローバルスタディ春日部版について

○闇バイト対策について



ペット同行避難

北春日部周辺の まちづくりについて



阿部 雅一
議員

2月8日、北春日部駅周辺地区土地画整理事業の起工式が開催されました。いよいよ本格的な工事のスタートが切られ、工事の安全、春日部市発展への思いを新たにさせていただきました。来賓の方々から、国、県、市、それぞれのお立場の中で、本区画整理事業の成功がどれほど本市にとって重要であるか、事業実施に当たり、全面的なご支援のお約束のお言葉をいただきました。北春日部周辺のまちづくりには、宮代町、埼玉県の行政同士、また首長同士の緊密な情報交換が望まれる時期に差し掛かってきましたが、本市と宮代町の境を流れる隼人堀川に架かる橋梁工事の進捗状況をお伺いします。

○建設部長
1級河川隼人堀川に架かる橋梁の進捗状況については、現在、工事の発注に向けた詳細設計を実施しているところ



です。また、宮代町で事業を進めている都市計画道路の整備についても測量や工事の設計、用地取得などを進めていると伺っています。市としても隼人堀川に架かる橋梁が早期に完成できるよう、引き続き河川管理者である埼玉県宮代町、北春日部駅周辺地区土地画整理組合と調整を図りながら整備を進めていきたいと考えています。

このほか

○ボランティア活動について
○浜川戸分署と幸松分署の統合移転と共同消防指令センターの進捗状況について

今定例会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程
2/13	5	上程・説明
20	6	代表質問
21	3	質 疑
25	10	質 疑
26	7	質 疑
27	1	質 疑
3/3	6	委員会
4	8	委員会
6	21	一般質問
7	37	一般質問
11	14	一般質問
13	24	一般質問
17	45	一般質問
19	4	討論・採決
合計	191	

傍聴して一言

インターネットで議会内容を見ていたが、実際に会場で聞いてみたいと思い、参加しました。

また、機会を見つけて傍聴したいと思います。

男性・74歳

八潮市の道路事故に関連して、春日部市内の排水節水の現状、また、中川への汚水放流の影響について、春日部市も他人事ではないという思いで、お話が聞けたらと伺いしましたが、内容については聴くことができず、残念でした。

い分別が見込まれると思う。防災について、粉ミルクと液体ミルクとあったが、災害時にお湯を用意することは難しいため、液体ミルクの量を増やした方がよいのではないかと思った。

女性・21歳

私たちの生活に必須な水道事業です。現状と展望を、ぜひ早急にお知らせください。今後も時間をつくり、傍聴させていただきます。

女性・64歳

市長が地域コミュニケーションの活性化の推進をはじめました。

その本気度を確認するため、令和7年度施政方針を聞ききました。

その結果は、市長が本気に取り組むと理解しました。

男性・78歳

ごみ分別アプリのみであると、アプリを入れようと思わないため、その他、市の支援についても載っているものにしたらいと思う。

市の取り組みに関して疑問や興味をもつ人がアプリを開くことで、より多くの人がごみの分別を見ることができるよう

高次脳機能障害の支援については想定内でした。もう少し踏み込んだ内容を求めます。基幹相談センターについて一歩進んだと思う。

男性・53歳

※割愛させていただいた部分もあります。

意見交換会 (議会報告会)を開催しました

市議会では開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しています。

若い世代にも議会の活動や市の政策を知っていただくための重要な場と考え、令和6年12月20日に春日部女子高等学校、令和7年1月16日に春日部工業高等学校の生徒さんを新本庁舎にお招きし、開催しました。

各校とも、本市に関するテーマを決めていただき、議員との活発な意見交換を行いました。

お忙しい中、ご参加いただきました生徒さん、学校関係者の皆さまには、貴重なご意見やご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

なお、市議会ホームページでは、アンケートの集計結果などを掲載していますので、ご覧ください。

詳しい内容は
こちらから



議場での意見交換会の様子



春日部工業高等学校



春日部女子高等学校

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

1月27日
・令和7年第1回（1月）臨時会の運営について

2月7日

・令和7年3月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

1月31日

・デジタル化とペーパーレス化について

・議会報告会について

▽広報広聴委員会

3月24日

・議会だより第79号について

・議会だより表紙について

4月4日

・議会だより第79号について

・議会だより表紙について

▽図書室運営委員会

4月4日

・令和6年度図書費決算について

・令和7年度図書費予算（案）について

・令和7年度図書費予算（案）について

市議会ホームページのご案内

議員名簿、会議日程、会議録、本会議の録画中継映像などをご覧いただけます。



地震避難訓練の実施

令和7年3月11日開会前に、地震避難訓練を実施しました。



編集後記

議会だよりの発行に際し、議会活動の内容を市民の皆さまに分かりやすくお伝えするために、編集には多くの努力と工夫が必要です。議員の熱心な議論や市民の皆さまから寄せられたご意見を反映させるため、写真やイラストを用いて市民の皆さまに手に取っていただける議会だよりを作成するよう、現在、協議をしています。

さて、3月定例会では、市長の施政方針で6つの基本目

標が示されました。

また、1月に発生した八潮市の陥没事故の影響から本市のインフラ整備、点検についての一般質問が多く取り上げられました。これからも市民の皆さまの声を大切に、本市がより住みやすいまちになるよう努めていきます。

今後も、議会だよりを通じて市政の情報をお届けし、市民の皆さまと情報共有を深めていきたいと思います。

最後に、編集にご協力いただきました皆さまに心から感謝を申し上げます。次回もお楽しみください。

広報広聴委員会

委員長	会田 吉幸
副委員長	木下三枝子
委員	山口 剛一
委員	平沢 一博
委員	伊藤 一洋
委員	中村 貴彰
委員	藤原 智子
委員	大里 昇
オブザーバー	
議長	小久保博史
副議長	栗原 信司

〒344-8577

埼玉県春日部市中央七丁目2番地1

春日部市議会

TEL 048-796-8395